（様式2）

令和７年度　学校評価の４点セット整理票

3学期版

日田市立　大明小　学校

令和8年2月25日

検証・改善フローシート　月ごとのや学期途中での検証・改善に繰り返し使用できます。

確認・検証・改善【３回目】　２月２５日　実施

【学校の教育目標】	ふるさとに誇りを持ち、人間性豊かにたくましく生き抜く児童生徒の育成 ～　学びあい　支えあい　みがきあい　～
【育成を目指す資質・能力】	聞く力・伝える力

（評価　４：１００％以上　３：８０％以上１００％未満　２：６０％以上８０％未満　１：６０％未満　※％は達成率）

重点目標	達成指標		重点的取組	取組指標	資質・能力との関連 知識・技能	思考力・判断力・表現	学びに向かう力・人間性等の涵養	担当	取組指標に対する 取組状況の確認 取組状況（エビデンス）	実施率	達成指標に対する 達成状況の確認 達成状況（エビデンス）	達成率	達成指標・取組指標の妥当性を 検証	評価 指標別	評価 全体	改善方法	学校関係者評価（３月12日） 考察	評価
コミュニケーション力の育成	○「自分から進んで挨拶プラス１ができている」とＡ評価回答する児童の割合を**６０**%以上 １学期７０%【達成率100%】 ２学期５９%【達成率98%】 ３学期６４%【達成率107%】 ○「生活目標を守って生活している」とＡ評価回答する児童の割合を**８０**%以上 １学期６９%【達成率99%】 ２学期７０%【達成率88%】 ３学期７０%【達成率88%】 *太字下線部が１学期からの変更点	学校	○基本的な生活習慣の習得（凡事徹底６項目） ・元気よくあいさつ・返事をします ・時間を守って行動します ・そうじにしっかり取り組みます ・身だしなみをきちんとします ・ていねいな言葉づかいをします ・はきものをきちんとそろえます	○教職員は日常的にあいさつの指導を行い、小学部朝会であいさつの良い人を紹介する。	○			指導部	教職員アンケート項目「日常的にあいさつの指導を行い、朝会であいさつのよい人を紹介している。」でA評価回答する教職員の割合100%	100.00%	児童アンケート項目「自分から進んで挨拶ができている」とＡ評価回答する児童の割合６４%	107%	・あいさつプラスワン（レベル４）の声掛けを推進してきた結果、意欲的にあいさつできる児童が増えてきた。一方で、C評価する児童は微増しており、自分のあいさつに自信が持てない児童が一定数いると思われる。 ・全体的には達成率は上がってきているが、逆にC評価する子が微増しており、できている児童とそうでない児童の差が広がってきている現状がある。	4 3	4	○できていることを認める場づくり ・「あいさつ名人」や、帰りの会、集会などでのがんばりを紹介することを継続して行っていく。 ・達成状況を毎日振り返り、意識して守れるように取り組みを促す。 ・家庭と連携し、「すごし方チェックカード」や学級通信などで達成状況を共有する。	日常的な指導を継続的に行っていく必要がある。	4 3
				○教職員は生活目標を掲示したり、朝の会で意識させたりし、帰りの会で振り返りをさせる。	○				教職員アンケート項目「生活目標を掲示したり、朝の会で意識させたりし、帰りの会で振り返りをさせている。」でA評価回答する教職員の割合87.5%	88%	児童アンケート項目「生活目標を守って生活している。」とＡ評価回答する児童の割合７０%	88%						
		家庭	○メディアルールを守った生活	○家族で話し合い生活チェックカードのめあてを決め、目標を達成できるように、保護者が声かけによるサポートを行う。			○		2月16日～20日に「家での過ごし方チェックカード」の取り組みを実施。	1回/学期	保護者アンケート項目「家族で話し合い、生活チェックカードのめあてを決め、目標を達成できるように、保護者が声かけによるサポートを行うことができている。」で肯定的回答する保護者の割合８３．３%	100%	育友会等で、共通理解を図りながら継続した取り組みを行う。	4		育友会等で、共通理解を図りながら継続した取り組みを行う。	育友会等で、共通理解を図りながら継続した取り組みを行う。	4
		地域	○あいさつと声かけの推進	○地域全体で育友会との連携を図り、毎朝のあいさつ運動や「あいさつプラス１」の活動を行う	○				2月10日にあいさつプラス１運動を実施。	1回/学期	保護者アンケート項目「学校行事や育友会活動に取り組んでいる。」で肯定的回答する保護者の割合９１．７%	100%	引き続き取り組みを行う。	4		引き続き取り組みを行う。	引き続き取り組みを行う。	4
主体的・対話的に学びを深める児童の育成	○「授業で、自分の意見や振り返りを書くことができた。」と**Ａ評価**回答する児童の割合を**８０**%以上 １学期９１%【達成率107%】 ２学期７１%【達成率89%】 ３学期７２%【達成率90%】 ○「授業や行事などで、ペア交流や発表、感想発表などができた。」と**Ａ評価**回答する児童の割合を**７０**%以上 １学期９２%【達成率115%】 ２学期６７%【達成率96%】 ３学期５８%【達成率83%】 *太字下線部が１学期からの変更点	学校	○「伝え合う場」を設定した、行事や授業での取り組み	○授業者は、ペア・グループ学習において考えを伝え合う時間を１日１回以上授業時に設定する。 ○大明タイムで聞く力・伝える力に関連した活動を週１回行う。 ○ヘッピータイム・集会でも振り返り場面を設定する。		○		研究部	・教職員アンケート項目「授業者はペア・グループ学習において考えを伝え合う時間を１日１回以上授業時に設定している。」でA評価回答する教職員の割合85.7% ・教職員アンケート項目「大明タイムで聞く力・伝える力に関連した活動を週１回行っている。」でA評価する教職員の割合100%	92.85%	児童アンケート項目「授業で、自分の意見や振り返りを書くことができている。」とA評価する児童の割合７２%	90%	・２学期に比べて数値は上がったが、８０%は達成できなかった。教職員アンケートの「思ったことや考えたことと振り返りなど書く活動を設定した授業を行っている。」でA評価する教職員の割合100%であることから、その設定はできているが、児童が書く内容を考えることに自信を持っていないと思われる。 ・２学期に比べA評価の数値が下がった。文章の構成やどんな言葉を言えばいいか分からないことで発表の自信が持てない児童が多く見られた。	3 3	4	○振り返りのカードを活用しながら、行事や縦割り班活動での振り返りの充実を図る。 ・社会科見学や行事等で全員発表や感想の場の設定を必ず行うように共通理解する。 ・掃除時間や体育朝会での振り返りを縦割り班ごとに行ったり、掲示制にする。 ○読書の定着や文章構成につながるような取り組みを行う。 ・宿題の内容や量を各学年でそろえる。 ・学びあいタイムを利用して宿題の内容が定着しているか確かめる場を設定する。	来年度も、聞く力・伝える力の育成に取り組む。	3 3
			○思ったことや考えたこと等を「書く活動」を設定した授業 ○ＩＣＴを活用した授業の推進	○授業者は児童が発表したり、考えを交流したりする場面でＩＣＴを活用した活動を月１回以上取り組む。		○			・教職員アンケート項目「思ったことや考えたこと等を書く活動を設定した授業を行っている。」でA評価する教職員の割合100% ・教職員アンケート項目「授業者は児童が発表したり、考えを交流したりする場面でＩＣＴを活用した活動を月１回以上取り組んでいる。」でA評価する教職員の割合85.7%	92.85%	児童アンケート項目「授業や行事などで、ペア交流や発表、感想発表などができている。」とA評価する児童の割合５８%	83%		4		育友会等で、共通理解を図りながら継続した取り組みを行う。	育友会等で、共通理解を図りながら継続した取り組みを行う。	4
		家庭	○家庭での親子読書の推進 ○親子での会話	○保護者は、読書週間の取り組みを学期に1回行う。 ○読書週間中は読書の内容についての会話に取り組む。		○			2月16日～20日に「親子読書」の取り組みを実施。	1回/学期	・保護者アンケート項目「学期に一度の親子読書週間で、子どもと親子読書の取り組みができている。」で肯定的回答する保護者の割合６２．５% ・保護者アンケート項目「読書期間中は読書の内容についての会話に取り組むことができている。」で肯定的回答する保護者の割合５８．３%	100%	育友会等で、共通理解を図りながら継続した取り組みを行う。	4		育友会等で、共通理解を図りながら継続した取り組みを行う。	育友会等で、共通理解を図りながら継続した取り組みを行う。	4
		地域	○「地域と共にある学校」に向けての支援	○地域は、毎回の学校運営協議会や学校行事において、学校の取り組みについて意見や感想を積極的に述べる。		○			・2月24日に第４回学校運営協議会を実施 ・3月12日に第５回学校運営協議会を実施	2回/学期	保護者アンケート項目「学校運営協議会が地域と学校、保護者と連携して計画的に推進している。」で肯定的回答する保護者の割合９５．８%	100%	引き続き取り組みを行う。	4		引き続き取り組みを行う。	引き続き取り組みを行う。	4
人とつながりふるさとを愛する心の育成	○児童アンケート「友だちのいいところを見つけ、伝えることができた」のA評価回答する児童の割合を80%以上 １学期６７%【達成率84%】 ２学期７２%【達成率90%】 ３学期６２%【達成率78%】 ○「地域やふるさとが好き」とＡ評価回答する児童の割合を90%以上 1学期８５%【達成率94%】 2学期９１%【達成率101%】 3学期９０%【達成率100%】 *太字下線部が１学期からの変更点	学校	○集団活動の充実	○教職員は望ましい人間関係の視点で肯定的評価を行うとともに、児童同士の振り返りの場を設定し、個々の児童の意見のよさを伝える。			○	教務部	教職員アンケート項目「望ましい人間関係の視点で肯定的評価を行うとともに、児童同士の振り返りの場を設定し、個々の児童の意見のよさを伝えている。」でA評価回答する教職員の割合87.5%	88%	児童アンケート項目「友だちのいいところを見つけ、伝えることができている。」のA評価回答する児童の割合６２%	78%	・A評価62%と、80%に達しなかった。教職員アンケートではA評価87.5%であったことから、児童同士の伝え合いに課題があると思われる。 ・2学期から横ばいであった。3学期も地域教材や地域人材を生かした教育活動をおこなったことで意識は続いていると思われる。	2 3	4	○伝え合う場を設定する。 ・学期に2回、全校で笑顔の花カードを渡す機会をつくる。 ・各学級は、月に1回以上、帯時間やすきま時間などで笑顔の花カードを書く活動を設ける。 ・複数学年でおこなうハッピータイムの際には、活動後に笑顔の花カードを書く時間を設定する。	日常的な指導を継続的に行っていく必要がある。	2 3
				○「えがおの花」カード等によって友だちの良さを見つけあう活動を学級や全校で推進する			○		教職員アンケート項目「えがおの花カード等によって友だちの良さを見つけあう活動を学級や全体で推進している。」でA評価回答する教職員の割合75%	75.00%	児童アンケート項目「地域やふるさとが好き」とＡ評価回答する児童の割合９０%	100%						
		家庭	○家庭でのつながり（家庭版「えがおの花」活動）の推進	○家庭は、学期に１回「笑顔の花カード」に子どものいいところを見つけて記入する。			○		3月１０日～１９日まで「えがおの花カード」の取り組みを実施。	1回/学期	保護者アンケート項目「学期に１回えがおの花カードに子どものいいところを見つけて記入することができている。」で肯定的回答する保護者の割合１００%	100%	育友会等で、共通理解を図りながら継続した取り組みを行う。	4		育友会等で、共通理解を図りながら継続した取り組みを行う。	育友会等で、共通理解を図りながら継続した取り組みを行う。	4
		地域	○総合的な学習の時間への参画	○地域は、ゲストティーチャーとして、授業・体験活動・探究活動等に学校の要請に基づいて協力する。			○		1・2年：「昔あそび」、4年：防災学習 5年：スタンドグラス体験、5年：ともえ広場での体験学習 3年：行政施設見学、1・2年：自転・徒歩にてにこに保育園交流	1回/学期	地域は、授業・体験活動・探究活動等に学校の要請に基づいて協力を行うことができた。	600%	引き続き取り組みを行う。	5		引き続き取り組みを行う。	引き続き取り組みを行う。	5
効果・効率的な働き方の推進	○最終退勤時間を守った教職員の割合８５%以上 1学期７５%【達成率88%】 2学期９２%【達成率108%】 3学期９８%【達成率115%】 ○教職員アンケート「効率的な働き方に努めている」の項目で肯定的な回答割合を９０%以上 1学期１００%【達成率111%】 2学期１００%【達成率111%】 3学期１００%【達成率111%】	学校等	○業務の見直し、改善と教職員のワークライフバランスの推進	○月１回校内労働安全衛生委員会を開催。 業務の共通理解と見直し、改善等を行う。 学期に１回、計画年休取得期間を設定する。				管理部	・毎月２回以上校内労働安全衛生委員会を開催 ・中学部と揃えた期末整理期間の設定を実施	・月２回以上実施 ・1学期	・最終退勤時間を守った教職員の割合９３% 達成率１１５% ・教職員アンケート項目「効率的な働き方に努めている」の項目で肯定的回答する教職員の割合を１００% 達成率１１１%	115.00%	○３学期も短縮５校時を１週間期末整理期間として設定した。 ○年間前の１宣を会議ができるように整理し、育友会の部会等で使用できるようにしたことで、職員が２０時までに退勤する回数が増えている。	4	4	○来年度も期末整理期間設定を中学部と揃え、早めに学年末整理に取り掛かれる環境を整える。 ○育友会活動の終了時間への協力を継続して行ってもらう。	計画的に実施し、変更も検討する。	4
			○効率的な活動の実施	○勤務時間外で行う育友会活動を20：30までに終了するように協力する（開始時刻の変更を含む）。					・毎月２回以上校内労働安全衛生委員会を開催 ・中学部と揃えた期末整理期間の設定を実施	・月２回以上実施 ・1学期	職員が育友会活動の開かりで２０時までに退勤できた回数 ４／５回	80%	育友会等で、共通理解を図りながら継続した取り組みを行う。	3		育友会等で、共通理解を図りながら継続した取り組みを行う。	育友会等で、共通理解を図りながら継続した取り組みを行う。	3
			学校支援活動の推進	学校運営協議会において学校の働き方改革の話し合いを持ち、学校を支援する。					・2月24日に第４回学校運営協議会を実施 ・3月12日に第５回学校運営協議会を実施	2回/学期	・2月24日に第４回学校運営協議会を実施 ・3月12日に第５回学校運営協議会を実施	100%	年４回の実施を行う。	4		年４回の実施を行う。	年４回の実施を行う。	4